

はじめの一歩

# やっぱり紙も好き!

～ペンと紙を ComicStudio で使おう～

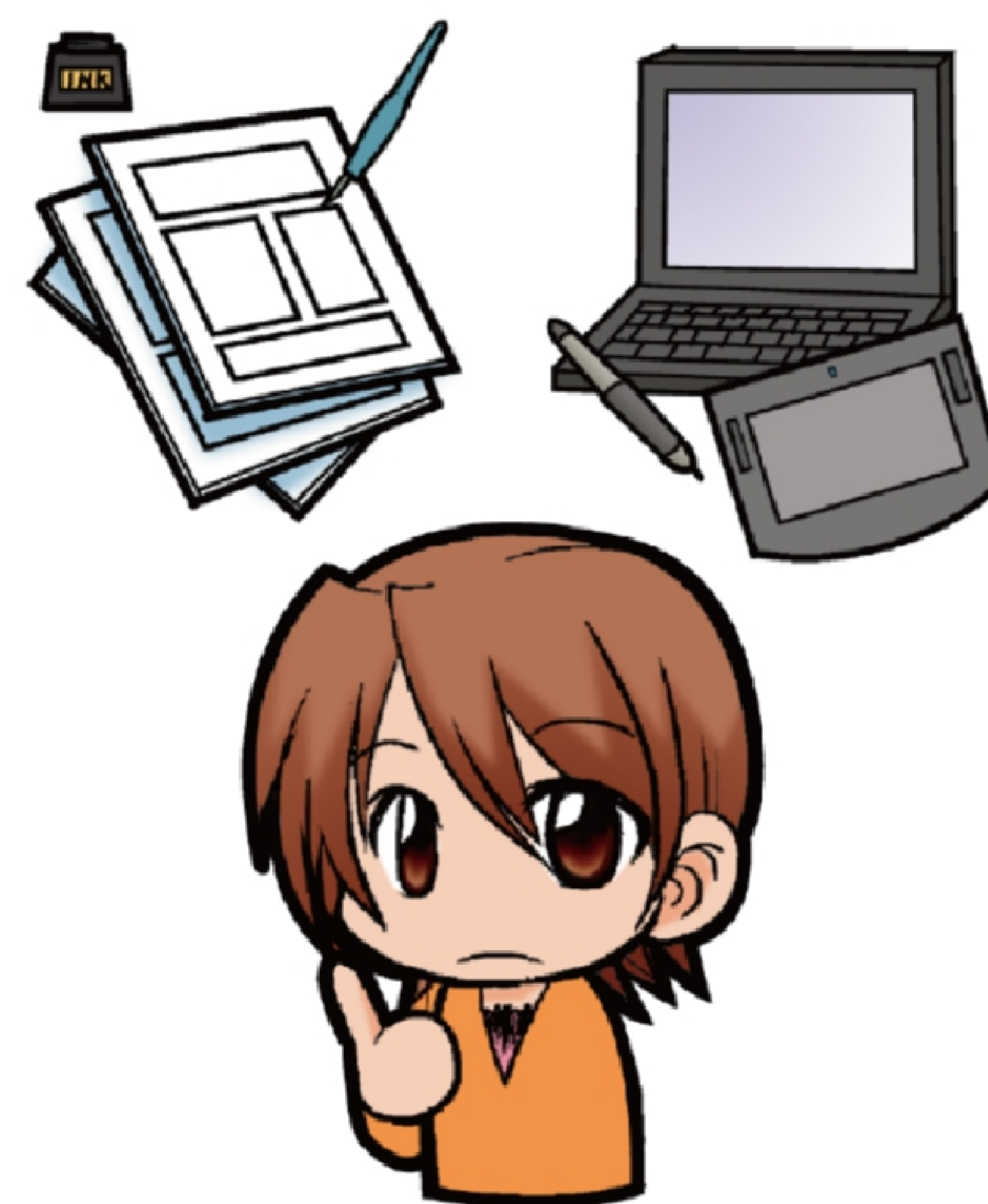
## 第1回 タブレットになれなかったら、紙に描いてもいいんだよ?

世の中には、2種類の人間がいます。  
タブレットで絵をかける人間と、描けない人間が。

デジタルで漫画を描くぜ!と ComicStudio を買った方がいいが、どうしてもタブレットで絵を描くことになれない…落書きはできるど、真面目にマンガを描こうと思うと、どうしても上手くいかない…そんな人は、無理に全部 ComicStudio を使う必要はないのです。

ComicStudio は紙原稿を読み込む機能も搭載されています。どうしても、タブレットで絵を描くことに慣れなかったら、とりあえず紙原稿を読み込んで仕上げをやる所から始めるのも一つの手です。

ComicStudio で紙原稿を使う場合、どんなパターンがあるか見てみましょう。

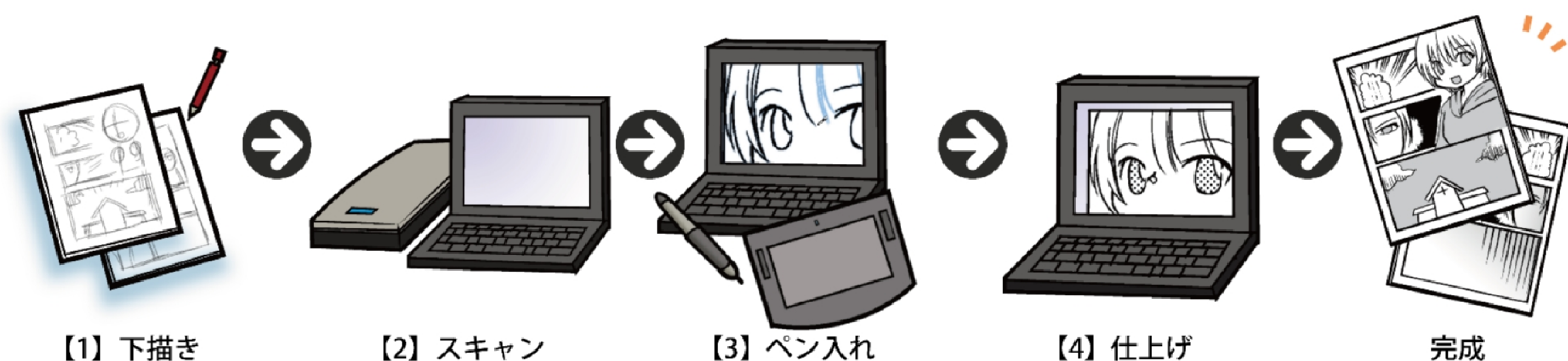


### ComicStudio で紙原稿を使うときのあれこれ

#### Case1 ペン入れ済みの原稿を読み込んで、仕上げを ComicStudio でやるパターン



#### Case2 鉛筆で描いた下描きを読み込んで ComicStudio でペン入れするパターン





## 下描きから？ペン入れから？どっちにするか考えよう！

ComicStudio で紙原稿を使う場合、「ペン入れ済みの原稿を読み込む」場合と、「下描きを読み込んで ComicStudio でペン入れする」場合があります。それぞれ、メリットとデメリットがありますので、自分の作業スタイルにあう方を選んでください。

### ➤ ペン入れ原稿を読み込む

#### メリット

- ComicStudio での作業は仕上げのみ。
- タブレットでペン入れしなくてすむので、タブレットが苦手でも大丈夫。
- 紙原稿でのペン入れになれていると早い。

#### デメリット

- アナログの画材が必要。
- ほぼ完成原稿を読み込むので ComicStudio 内での自由度が低い。
- 紙原稿でのペン入れになれている必要がある。

### ➤ 下描きを読み込む

#### メリット

- ペン入れを ComicStudio でやるので、必要な画材は紙と鉛筆のみ。
- ペン入れから ComicStudio なので、自由度が高くなる。

#### デメリット

- ペン入れから ComicStudio を使うので、タブレット、ComicStudio でのペン入れになれる必要がある。

最初のうちは、自分がなれている方の作業を多くすると楽です。紙原稿になれている場合は、仕上げだけ ComicStudio でやるようにした方が楽だと思いますし、紙原稿でのペン入れになれてない人は、ペン入れから ComicStudio でやった方がきれいに仕上がったりします。

慣れてくると、「人物はアナログ、背景は ComicStudio で～」とか組み合わせて、作業効率を効率アップさせることもできますし、あまり深く考えずに、自分が楽だな～と思う方を選びましょう。

この連載では、「ペン入れ済みの原稿を読み込んで、仕上げを ComicStudio でやる」パターンから紹介していきたいと思います。